

BASE Vol.122

実践的基礎知識 育てる投資編(3)

<各資産のリスク/リターン特性 ~資産ごとに特徴的な差がある~>

2020/08/06

各資産のリスク/リターン特性 ~資産ごとに特徴的な差がある~

代表的な資産の過去のリスクとリターンのバランスを比較すると、各資産のリスク/リターン特性に大きな差があることが分ります。今回は、各資産のリスク/リターン特性について、グラフで確認してみましょう。

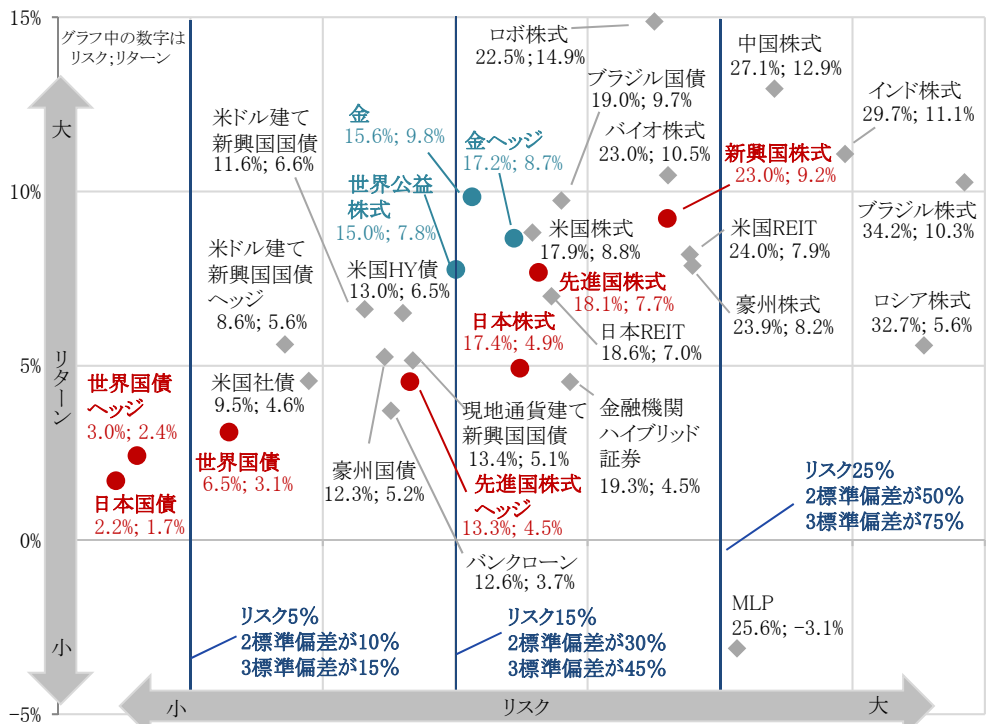
各資産のリスク/リターン特性 ~資産ごとに特徴的な差がある~

図表1は、各資産のリスクとリターンをプロットしたグラフです。リスク(標準偏差)が25%ということは、リターンの平均値から2標準偏差(標準偏差×2)を差し引いた、全収益率データの95.4%*が含まれる範囲の下限が平均-50%にもなるということです。こうした資産に投資する場合、投資するタイミングによって良い時と悪い時の差が非常に大きくなります。

*データが正規分布している場合

育てる投資の代表格である先進国株式や世界公益株式のリスクは、それぞれ18.1%、15.0%と20%を下回る水準となっています。

図表1:各資産のリスクとリターン(月次、期間:2003年6月末~2020年7月末)



*データは過去の実績であり、将来の運用成果等を示唆あるいは保証するものではありません。

※日本株式:TOPIX、米国株式/豪州株式/中国株式/インド株式/ブラジル株式/ロシア株式:MSCI各国指数、米国REIT:MSCI米国リート指数、日本REIT:東証REIT指数、新興国株式:MSCIエマージング・マーケット指数、先進国株式:MSCIワールド指数、先進国株式(ヘッジ):MSCIワールド(ヘッジ)指数、日本国債:FTSE日本国債指数、世界国債:FTSE世界国債指数、世界国債(ヘッジ):FTSE世界国債(ヘッジ)指数、米国社債:BofA Merrill Lynch米国社債指数、米国ハイイールド債:BofA Merrill Lynch米国ハイイールド指数、米ドル建て新興国国債:JPモルガンEMBIグローバル・デバースファイド指数、米ドル建て新興国国債(ヘッジ):JPモルガンEMBIグローバル・デバースファイド(ヘッジ)指数、現地通貨建て新興国国債:JPモルガンGBI-EMグローバル・デバースファイド指数、豪州国債:FTSE豪州国債指数、ブラジル国債:JPモルガンGBIブラジル国債指数、バンクローン:S&P/LSTAレバレッジド・ローン指数、バイオ株式:ナスダック・バイオ株指数、MLP:Alerian MLP指数、ロボ株式:ROBOグローバル・ロボティクス&オートメーション指数、世界公益株式:MSCI世界公益株指数、金融機関ハイブリッド証券:ウェルズ・ファーゴ金融機関ハイブリッド証券指数。金:金/円のスポット価格、金ヘッジ:金/米ドルのスポット価格のリターンから米ドル円の1か月フォワードレートで算出する簡便的なヘッジコストを差し引いて計算。すべて円換算。期間中の各月のリターンを年率換算して集計し、平均をリターン、標準偏差をリスクとして表示。出所:ブルームバーグのデータを使用しピクテ投信投資顧問作成

当資料をご利用にあたっての注意事項等

■当資料はピクテ投信投資顧問株式会社が作成した資料であり、特定の商品の勧誘や売買の推奨等を目的としたものではなく、また特定の銘柄および市場の推奨やその価格動向を示唆するものでもありません。■運用による損益は、すべて投資者の皆さまに帰属します。■当資料に記載された過去の実績は、将来の運用成果等を示唆あるいは保証するものではありません。■当資料は信頼できると考えられる情報に基づき作成されていますが、その正確性、完全性、使用目的への適合性を保証するものではありません。■当資料中に示された情報等は、作成日現在のものであり、事前の連絡なしに変更されることがあります。■投資信託は預金等ではなく、元本および利回りの保証はありません。■投資信託は、預金や保険契約と異なり、預金保険機構・保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。■登録金融機関でご購入いただいた投資信託は、投資者保護基金の対象とはなりません。■当資料に掲載されているいかなる情報も、法務、会計、税務、経営、投資その他に係る助言を構成するものではありません。※当資料で使用したMSCI指数は、MSCIが開発した指数です。同指数に対する著作権、知的所有権その他一切の権利はMSCIに帰属します。またMSCIは、同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。